

marie claire

marieclairejapon.com

30th November, 2023
No.179



Dramatic Days

魅惑のホリデーシーズンへ

本サービスを利用した営利目的の活動行為、
あるいは本サービスを通じて入手した情報を
複製、販売、出版その他
私的利用の範囲を超えて使用する行為の
一切を禁止します。



Welcome to marie claire vol.179

3 年ぶりにパリに行ってきました。2024年春夏パリ・コレクションを見るために、またフランスマリ・クレールとの打ち合わせのためです。

9月26日の夕刻、シャルル・ド・ゴール空港に到着。初秋のパリということでもかなり寒いのではとの予想は外れ、真夏のような暑さに、まず驚かされました。この好天と暑さは期間中ずっと続き、ファッション・ウィークをさらに盛り上げるのに一役買っているようでした。

パリ市内は来年のパリ・オリンピック、パラリンピックを控え、またラグビー・ワールドカップが開催中とあり、海外からの観光客も多く、騒然とした雰囲気が随所で感じられました。

ショーは、好天を利用して、セヌ川のほとりや古城を舞台にしたり、大きなテントを使ったり、歴史的な建造物を使用したりと多様な舞台をバックに開催されました。

コレクション前に既に発表されたデザイナーの交代や辞任、インフルエンサーの台頭など、コロナ後のファッション界の行方に否が応でも関心が高まったこのファッション・ウィーク。各ブランドのコレクションから感じたのは非常に楽観的な、自由にファッションを楽しもうという姿勢でした(26ページにコレクションレポート)

「ルイ・ヴィトン」はシャンゼリゼ通りの隣の、将来はホテルにする予定のビルを使いショーを開催。ビルの内部の床、壁、天井をオレンジのシートで覆い、鮮やかな色使いと軽快なシルエットで旅の高揚感を演出。また「エルメス」では野草や花を使い会場の内部を演出、モデルたちは、ボルドー、グレージュ、ホワイト、ブルーなど色の順に、上質なレザーを使ったタンクトップやブラトップにレザーやシルクのしなやかなテーラードをあわせるスタイルを展開。「シャネル」はキュビズムの影響を受けた南フランスにあるヴィラ・ノアイユ庭園をインスピレーション源に、鮮やかな色使いでチェックやパッチワーク、ストライプのスーツやワンピースをサンダルやフラットシューズとともに見せ、とても明るく楽しいコレクションを発表しました。



Louis Vuitton Hermès Chanel Dries Van Noten Loewe Undercover Yohji Yamamoto

「クワイエット・ラグジュアリー」という言葉が、昨今いろいろな場面で使われています。これ見よがしではなく、上品で控えめなコレクションのことですが、その流れのコレクションが多く見られました。しかし、ファースト룩で鳥肌が立つようなチャレンジングで実験的なコレクションもあるのがさすがパリです。

特にその興奮を感じさせてくれたのは「ドリス ヴァン ノッテン」。「見慣れたものを、見たことのないありふれたものに」というテーマで、ストライプのシャツやタキシードなどメンズの昔からあるアイテムの素材や柄を、全く別のものに、自由に作り替えて発表していました。またヴァンセンヌの古城をバックにフェミニズム・アートのリンダ・ベングリスの作品を随所に配した会場でショーを見せた「ロエベ」は、シルエットにフォーカスするという狙いで、余分なものをそぎ落とし、新しいプロポーションを提案していました。アートとの境界線を取り扱うような試みです。

今回のパリ・コレクションで特に印象的だったのは日本のクリエイターたちへの大きな拍手でした。「アンダーカバー」「イッセイ ミヤケ」「ヨウジヤマモト」「コム デ ギャルソン」などパリ・コレクションに参加している日本ブランドは10以上、全体の10%に当たります。どのブランドも独自の考えで、トレンドにも影響されず、我が道を行くといったスタイルを表現し、パリで常に高評価を得ていますが、今回のコレクションでもそれは変わりませんでした。

特に印象に残ったのは「アンダーカバー」。テーマは「ディープ・ミスト」。スモークがたかかれたおぼろげな空間の中で闇の中にうっすらと見えるシルエット。コラボしたドイツ人画家ネオ・ラオホのシュールな作品やデザイナー自身が描いた目のない肖像画をプリントしたスカートなど、幻想的な雰囲気の中で、まるでアート作品のようなコレクションを発表し喝采を浴びました。

日本デザイナーの底力を改めて感じる事ができたのが、一番の収穫だったのかもしれない。
2023年11月30日

Katsuto Tai

田居克人
Katsuto Tai, marie claire 編集長

Contents

- 9 Welcome to marie claire /
- 10 Cover Story: Vanessa Kirby /
- 13,15 Style Picks: Find Joy /
- 16 FERRAGAMO /
- 17 Style Picks: Glorious Time /
- 18 Style Picks: Get Sparkled /
- 19 Style Picks: Gift ideas /
- 20 Loro Piana /
- 24 FALCONERI /
- 25 TAG HEUER /
- 26 Collection report:
Paris Fashion Week 2024 S/S /
- 27 BVLGARI /
- 28 marie claire /
- 30 Beauty: Luxury Body Care /
- 31 Beauty: Hair & Scalp Care /
- 32 Art: Espace Louis Vuitton /
Simon Hantai /
- 33 Art: The Cubist Revolution /
- 34 Event: marie claire Golf
Competition /
- 35 News, shop list

COVER

photo: Julien Vallon © Cartier
model: Vanessa Kirby
necklace ¥15,576,000 bracelet ¥6,996,000
ring ¥6,468,000 (Cartier)

marie claire

2023年11月30日発行 第12巻 第11号(通巻179号)

発行人 Publisher:
安部順一 Junichi Abe

編集長 Editor in Chief:
田居克人 Katsuto Tai

デジタル編集長 Editor in Chief Digital:
宮智 泉 Izumi Miyachi

アートディレクター Art Director:
木村裕治 Yuji Kimura

ビジネス スペシャリスト Business Specialist:
斉賀明宏 Akihiro Saiga

編集部 Editorial Team:
大林理子 Riko Obayashi
高波麻奈美 Manami Takanami
マルチンバヤル ホストツェグ
Malechinbayar Khostsetseg
岩崎芽衣 Mei Iwasaki

パリ特派員 Paris Correspondent:
須山佳子 Keiko Suyama

デザイン Design:
木村裕治 Yuji Kimura
佐藤 幹 Miki Sato

発行 Publication:
読売新聞東京本社
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
tel: 03-3216-8815
THE YOMIURI SHIMBUN

印刷 Printing:
共同印刷
KYODO PRINTING CO.,LTD.

MARIE CLAIRE INTERNATIONAL

Executive director:
Jean de Boisdeffre
Deputy director:
Félix Droissart
Deputy director (marketing and special operations):
Nicia Rodwell
International editorial director:
Séverine Harzo
International fashion and beauty chief editor:
Sylvie Halic
International commercial director:
Elodie Bretaudeau Fontelles
International deputy commercial director:
Elisabeth Barbier
Syndication director:
Thierry Lamarre

©MARIE CLAIRE ALBUM 2023
©THE YOMIURI SHIMBUN 2023
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。
※本紙に掲載されている商品の価格は
特記されている場合をのぞき、すべて税込のみです。

牡牛座taurus 4月20日→5月20日★古い考えを手放す時。新しい自分になるために自分を変える選択が必要です。今の出来事は自分を変えるきっかけ作りで起きているチャンスです。波に乗ります。宇宙はあなたの味方です。

牡羊座aries 3月21日→4月19日★肩の力を抜く時。やらなければ!と頑張りすぎてしまうと、楽しいはずのことも素直に楽しめません。追い込むことも、楽しむこともすべて自分が選べます。重荷は自分でおろします。



Vanessa Kirby

Cover Story
text: Masumi Shimura

入念なりサーチで役作りに挑む 『ナポレオン』に出演のヴァネッサ・カービー



映画『ナポレオン』で妻ジョゼフィーヌを熱演したヴァネッサ・カービー

ドラマ『ザ・クラウン』のマーガレット王女役や映画『ミッション:インポッシブル』のホワイト・ウイドウ役で知られるヴァネッサ・カービー。2021年には、『私というパズル』でアカデミー賞の主演女優賞にノミネートを果たした。快進撃を続けるなか、巨匠リドリー・スコット監督とホアキン・フェニックスがタッグを組んだ話題作『ナポレオン』では皇后ジョゼフィーヌ役に抜擢。“いま最も勢いがある女優の一人”とも称される彼女が、本作に込めた思いを語る。

一度見たら忘れることのできない鋭い眼差しと圧倒的なオーラで、誰もが虜になってしまう女優ヴァネッサ・カービー。『ワイルド・スピード/スーパーコンボ』や『ミッション:インポッシブル』シリーズで一躍世界的な人気を獲得し、いまや母国イギリスのみならず、ハリウッドの次世代を担う存在としても注目を集めている。そんななか、間違いなく彼女の代表作の一つとなるであろう最新作『ナポレオン』。本作では、ホアキン・フェニックス演じるフランスの皇帝ナポレオンを翻弄する最愛の妻ジョゼフィーヌを演じている。今回は、Netflixドラマ『ザ・クラウン』のファンであるリドリー・スコット監督からのオファーだったという。「脚本をもらった晩にすぐ読んで、すごく気に入ったわ。でも、驚いたのは自分がこんなにフランス史について何も知らなかったこと。準備期間が1カ月しかなくてとにかく大変だったけれど、2人のことが書かれている読める限りの本を閉じこもって読むことにしたの。ただ、ナポレオンに関す

る本は何千冊もあるのに、ジョゼフィーヌに関する本は60冊程度。そのことも私にとっては印象的だったわね。なぜなら、私はあまり知られていないような、素晴らしい人生を送った女性を取り上げることが大好きだから。実際、彼女の人生はどの年も驚くべきものであり、それらを学ぶのは楽しかったわ」ヴァネッサは役作りを追求するため、晩年のジョゼフィーヌが暮らしたパリ郊外のマルメゾンや市内の小さな教会の裏にある彼女のお墓を訪問。ナポレオン博物館やマルメゾンで歴史と時代と情熱を高めていったという。その結果、ヴァネッサはジョゼフィーヌのつかみどころのない魅力と気迫を完璧に体現してみせた。しかし、一方でさまざまな葛藤も抱えていたと明かす。「リサーチでは、本や文書、第三者からの証言、そしてナポレオンの手紙などあらゆるものを読んだけど、どのジョゼフィーヌもまったく違うのよ。『よし、これが彼女だ』と自分の考えが固まるたびに、何かが

それを完全に打ち消してしまう。彼女はまさに“矛盾の塊”よ。だから、この役を演じることは、つらくて不安なことでもあったわ。でも、私は彼女に対して深い悲しみを覚えてもいたの。強烈なエネルギーを持っていたにもかかわらず彼女は声を上げることを許されず、居場所のない貴族社会で『自分は無価値だ』と心の奥底で感じていたはずだから。これは多くの女性たちの物語であるとも言えるのよ」

現代の女性にも通じるどころがあるジョゼフィーヌだが、結婚、離婚、数々の恋愛、投獄など知られざる波乱万丈な過去を持つ。しかもナポレオンより6歳年上で2人の子どもがいる未亡人ということもあり、結婚には反対の声も上がったが、それでもナポレオンはジョゼフィーヌに執着。その理由について、ヴァネッサはこう分析する。

「私は2人には共通点があると思ったわ。彼らは共感を感じるだけでなく、相手から認められていると感じ、はみ出し者同士であることを理解し合っていたの。それと、彼女の浮気が世間に知られて恥をかかされても、喧嘩が絶えなくても、ナポレオンが別れなかったのは彼女の“神秘主義”のお蔭もあったんじゃないかしら」スコット監督とは、セクシュアリティと官

能性の違いについてもかなり話し合ったというが、“魔性の女”ジョゼフィーヌは一体どのようにして生まれたのか。

「彼女の天性の官能は、マルティニーク島という熱帯地域で育ったことから来ている気がするわ。暖かさや音楽、文化、環境によるものであって、きっと彼女の幼少期は知性よりも感覚が重視されていたのよ」いびつな関係が続けていたものの、ジョゼフィーヌの存在なしに“英雄ナポレオン”が誕生することはなかったかもしれない。そんな彼らの愛憎渦巻く激しいぶつかり合いを再現できたのも、強い信頼関係で結ばれたホアキンとヴァネッサだったからこそ。8000人を超えるエキストラを動員した壮大なスケールで描かれる戦闘シーンも見どころだが、2人が繰り広げる演技合戦にも目が釘付けになる。

現在、「カルティエ」を代表するコレクション「バンテール ドゥ カルティエ」のアンバサダーとしても活躍しているヴァネッサ。「エレガンス、艶やかさ、強い個性」という「バンテール」を象徴する要素は、彼女のための言葉であるようにも感じさせる。女優で慈善家でもあるヴァネッサは、これからも幅広いフィールドで大胆かつ自由に進み続けるに違いない。



天才的な軍事戦略で皇帝にまで上り詰めたフランスの英雄ナポレオン。最愛の妻ジョゼフィーヌとの奇妙な愛憎関係の中で、フランスの最高権力を手に、何十万人の命を奪う機多の戦争を仕掛けていく。英雄と呼ばれる一方で悪魔と恐れられた男、ナポレオンの真の姿を壮大なスケールで描く超大作。

『ナポレオン』(原題: Napoleon)
監督: リドリー・スコット
出演: ホアキン・フェニックス、ヴァネッサ・カービー
公開: 12月1日(金)全国の映画館で公開
オフィシャルサイト: www.napoleon-movie.jp
配給: ソニー・ピクチャーズ



蟹座 Cancer 6月22日→7月22日 ★望む生き方をする時。やりたいことに夢中になる事を許可します。自分勝手に生きるのではなく、健全にしたいことをできるよ。宇宙は調和に満ち溢れていることを実感します。

双子座 Gemini 5月21日→6月21日 ★自由と喜びを感じる時。自分が本当に望むものに気づき、自然と行動に移しています。宇宙は自分が望むことに応じます。お誘いが増えて、驚くような仕事のオファーも届きます。



1
Vincent Wulverycq
© Cartier



2



3



7



8



4



6



5

Find Joy

喜びを運んでくる聖夜のペンダント

Style Picks

text: Makiko Awata
YG=イエローゴールド、PG=ピンクゴールド、RG=ローズゴールド、WG=ホワイトゴールド

大切な人や頑張った自分に、憧れジュエリーのペンダントをホリデーギフトに指名買い。
首もとで存在感を発揮するアイコンックなジュエリーが、喜びとときめきを届けてくれる。

- 1. Cartier 1本の釘をモチーフにプレシャスなペンダントへと昇華。自由なスピリットを宿す、力強くもセンシュアルなフォルムに魅了。“ジュスト アン クル ネックレス” [YG×ダイヤモンド] ¥1,122,000 (カルティエ / カルティエ カスタマー サービスセンター)
- 2. Bulgari 古代ローマの遺跡を彩るモザイクが着想源の扇型モチーフと、色鮮やかなマラカイトの魅惑のコンビネーション。優美な曲線美がデコルテに女性らしさを添える。“ディーヴァドリーム” [PG×マラカイト×DIA] ¥561,000 (ブルガリ / ブルガリ ジャパン)
- 3. Chanel 伝説の香水の名前にもなったマドモアゼル シャネルのラッキーナンバーがインスピレーション源。こぼれ落ちる一滴の香水を、繊細なダイヤモンドの煌めきで表現。“シャネル N°5” [ベージュゴールド×ダイヤモンド] ¥572,000 (シャネル / シャネル カスタマーケア)
- 4. Harry Winston 美や喜び、成長の象徴である蝶を煌めくダイヤモンドで描いたフォーチュンジュエリー。“インフィニット・リリークラスター・ペンダント” [PT×ダイヤモンド] ¥1,573,000 (ハリ・ウィンストン / ハリ・ウィンストン クライアントインフォメーション)
- 5. Chaumet ティアラとエグレットをイメージしたVラインに、鮮烈な色彩を放つペアシェイプのルベライトをセット。その高貴な輝きが装いをクラスアップ。“ジョゼフィーヌ コレクション エグレット ペンダント” [WG×ダイヤモンド×ルベライト] ¥816,200 (ショーメ)
- 6. Boucheron 何にも染まらない、力強くもピュアな白の輝きをホワイトセラミックで強調。“キャトルダブル ホワイト ペンダント ラージ” [WG×ホワイトセラミック×ダイヤモンド] ¥709,500 (ブシュロン / ブシュロン クライアントサービス)
- 7. Graff シンメトリーに羽を広げた2匹のバタフライがエレガントに空を舞う。ピンクサファイアのロマンティックな輝きでデコルテを華やかにデコレーション。“ザ バタフライ シルエット” [PG×サファイア] ¥921,000 (グラフ / グラフダイヤモンドジャパン)
- 8. Van Cleef & Arpels 7石のラウンドダイヤモンドでまばゆい花冠をゴエティックに表現。“フルーレット ペンダント” [RG×ダイヤモンド] ¥1,386,000 (ヴァン クリーフ&アーペル / ヴァン クリーフ&アーペル ル デスク)

乙女座Vierge 7月23日→8月22日★幸せを考える時。自分はどうなったら幸せなのか？お金がどのくらいあったらいいか？生活スタイルはどんな風がいいのか？考えたり想像したり、ワクワク濃度を潜在意識に染み渡らせます。

獅子座Leo 7月23日→8月22日★愛する時。自分を愛する時間を増やします。居心地の良い時間を意識的に増やすこと。朝の光をたっぷり浴びて、深呼吸してフツッキリ。疲れたら甘やかし、前向きな気持ちか鍵。



Find Joy

喜びを運んでくる聖夜のペンダント

Style Picks

text: Makiko Awata
PG=ピンクゴールド、RG=ローズゴールド、WG=ホワイトゴールド

1.Hermès 馬具の蹄鉄釘モチーフを、モダンかつ軽やかに再解釈。なめらかなチャームと繊細なチェーンを組み合わせた洗練のY字ラインが、あらゆるスタイルにマッチ。“クルー・ド・フォルジュ” [PG] ¥840,400 (エルメス/エルメスジャパン) **2.Dior** 開花を待つフレッシュなバラの蕾を立体的に描いて。明るい未来を予感させる期待に満ちたジュエリーをお守りに。“ローズ ディオール クチュール” [PG×ダイヤモンド] ¥1,350,000 (ディオール ファイン ジュエリー/クリスチャン ディオール) **3.Louis Vuitton** タイムレスなモノグラム・フラワー モチーフをオープンワークで表現し、モダンなエスプリを効かせて。“ルイ・ヴィトン ブロッサム” [WG×ダイヤモンド] ¥940,500 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) **4.Fred** ゴールドハートの中にハートのダイヤモンドが輝くロマンティックなデザインは、愛に満ちた人生へと導いてくれそうな予感。“プリティウーマンインマイハート ネックレス” [PG×ダイヤモンド] ¥847,000 (フレッド/フレッド カスタマーサービス) **5.Mikimoto** 幸運のシンボル“矢”のモチーフを放射状にあらわしたマザー オブ パールのメダリオンが、希望の光のような煌めきを放つ。“ラッキー アローズ” [WG×白蝶貝×ダイヤモンド] ¥616,000 (ミキモト/ミキモト カスタマーズ・サービスセンター) **6.Mellerio** イタリア・ボローメア諸島の色彩あふれる庭園をイメージ。アンティークのような趣きを宿す花モチーフを、胸元でエレガントに咲かせて。“ミニジャルディーノサファイアペンダント” [PG×サファイア×ツァボライト×ダイヤモンド] ¥1,320,000 (メリリオ) **7.Tasaki** 原始的で鋭い角モチーフのメタルと、まろやかなパールのコントラスト。個性豊かなルックスながら、華奢なサイズ感がデイリーユースにぴったり。“デインジャー ホーン ペンダント” [サクラゴールド×あこや真珠] ¥308,000 (TASAKI) **8.Chopard** スウィートなハートが、オニキスの神秘的な輝きを纏ってモードに進化。“マイ ハッピーハート ネックレス” [エシカルRG×オニキス] ¥236,500 [50本世界先行発売] (ショパール/ショパール ジャパン プレス) **9.Damiani** スタイリッシュなモノクロームの輝きをグラデーションで纏ったクロスモチーフを胸元の主役に。“ベル エポック・ブラックシェード” [WG×ブラックダイヤモンド] ¥1,507,000 (ダミアネ/ダミアネ 銀座タワー)

蠍座scorpio 10月23日~11月21日★素直に望む時、何か叶えたいことがあるなら、素直に望みます。大切なものは自分が本当そうしたいのか？望みが現実化しても良いのかを確認します。そして、そのときから行動します。



Glorious Time

美しきタイムピースと心躍る時間を

Style Picks

YG=イエローゴールド, PG=ピンクゴールド, RG=ローズゴールド, SS=ステンレススティール

1年で一番、心が華やぐシーズンだからこそ、とっておきのタイムピースとの出会いでさらなる高揚感を味わって。美しい彩りや、品格を語るシックな佇まい……手にすればきっとドラマティックな時間が始まる。

1.Patek Philippe 不朽の名作「カトラバ」から今年誕生したエレガントなタイムピース。パールで彩られた文字盤とベルトが手元で優美なオーラを放って。時計「カトラバ 4997/200」[RG×ダイヤモンド、パール・カーフスキストラップ、ケース径35mm、自動巻き]¥5,797,000 (パテック フィリップ / パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター) **2.Vacheron Constantin** オートチュールから着想を得たダイアルのブリッツモチーフが華やか。深みのあるボルドーのベルトでさらにマチュアな表情に。時計「エジェリー・オートマティック」[PG×ダイヤモンド、アリゲーターレザーストラップ (※写真は別注¥62,040)、ケース径35mm、自動巻き]¥4,884,000 (ヴァンショロン・コンスタンタン) **3.Rolax** エレガンス、クラシック、モダニティ、すべての言葉が当てはまる。洗練さを極めた今年の新作モデル。ゴールドとブラックが醸す気品漂うハーモニーに魅了される。時計「バーベチュアル 1908」[YG、マットブラックアリゲーターレザー、ケース径39mm、自動巻き]¥2,880,900 (ロレックス / 日本ロレックス) **4.Richard Mille** 夏を思わせるポップなカラーリングの最新作は、1980年代のイタリアのアート・建築運動であるメンフィス デザインから着想を得たもの。卓越した職人技と遊び心が融合した逸品。時計「RM 07-01 オートマティック カラーセラミックス」[バウダーブルーTZPセラミックス×WG、レザーストラップ、ケース31.4×45.23mm、自動巻き]¥29,590,000 (リシャル・ミル / リシャル・ミルジャパン) **5.Tag Heuer** 深みのある神秘的なブルーの文字盤にインデックスがくっきりと浮かび上がる。スポーティでありながらクラシックなエレガンスが漂い、男性にも女性にも愛される1本。時計「タグ・ホイヤー カレラ クロノグラフ」[SS、レザーストラップ、ケース径39mm、自動巻き]¥808,500 (タグ・ホイヤー / LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー) **6.Rado** 砂丘の風景にインスパイアされた優美なコレクション。ハイテクセラミックの艶やかな輝きと、サンレイ仕上げによる放射状のテクスチャーが美しく響き合う。時計「ラダー セントリックス」[SS (ローズゴールドカラー PVDコーティング)×ハイテクセラミック、ケース径30.5mm、自動巻き]¥414,700 (ラダー / スウォッチ グループ ジャパン ラダー事業本部) **7. Longines** アイコンコレクションから登場したコンパクトな新世代モデル。セレーネ・ブルーと名付けられた軽やかなカラーリングに視線が集中。時計「ミニドルチェヴィータ」[SS×ダイヤモンド、アリゲーターストラップ、ケース21.5×29mm、クォーツ]¥561,000 (ロンジン / スウォッチ グループ ジャパン)

天秤座libra 9月23日~10月22日★素直になる時、自分が欲しいものを明確にします。欲しいものを欲しいというのは、我儘ではありません。心に魂に正直に、自分の欲しいものを素直に願い、豊かさを受け取ります。

シャイニーな煌めきを
コーディネートの主役に

バッグ(上から)丸いフォルムとコンパクトなサイズ感がチャームポイント。ガンチーニのバックルを飾ったアシメトリーなポケットと硬質な光を纏うシルバークラウドでモード感を添えて。[W20×H11×D5] ¥231,000
新しいアイコンバッグもシャイニーなカラーでホリデー気分を演出。ミニサイズがパーティバッグにぴったり。"WANDA (ワンダ)" [W18×H18×D6] ¥231,000 プラントを象徴する存在。"ヴェラ"のパンパスに、煌めくクリスタルをびっしり飾ったドラマティックな1足。シューズ[H3] ¥165,000 (すべてフェラガモ / フェラガモ・ジャパン)



FERRAGAMO

華やかな季節の主役たち
心躍る「フェラガモ」の
ニューアイコン

昨年、マクシリアン・デイヴィスを
クリエイティブ・ディレクターに迎えてから、
初のホリデーコレクションを発表した「フェラガモ」。
ブランドのオーセンティックな魅力はそのままに、
モダンに進化したバッグやシューズたちが、
この季節、さらに華やかな表情を纏って登場!

photos: Asa Sato
text: Tomoko Kawakami



ギフトやご褒美に選びたい魅惑の最新作

1.ブランド創業者、サルヴァトーレ・フェラガモの妻の名「ワンダ」を冠したシリーズ。台形シルエットのバッグは、両サイドに飾ったガンチーニ型のハードウェアがアクセント。マイクロミニサイズの新作は、輝くゴールドカラーでパーティのお供にも最適。バッグ"WANDA (ワンダ)" [W13×H13×D4] ¥154,000 **2.**マクシリアンが手掛ける新生フェラガモを象徴する新アイコンバッグ"HUG"にミニボーチが仲間入り。軽やかなベールグリーンも新鮮! バッグ"HUG (ハグ)" [W24×H15×D12] ¥286,000 **3.**後ろからバッグを愛おしく抱きしめるように、ガンチーニのバックルが配された"HUG"。エレガントなキャメルカラーはどんなスタイルとも好相性。バッグ"HUG (ハグ)" [W31.5×H22×D19] ¥363,000 **4.**創業者の長女の名"フィアンマ"を冠した最新作。直線と曲線が交錯したアシメトリーなデザインが美しい。バッグ"FIAMMA (フィアンマ)" [W23×H18×D8] ¥319,000 **5.**オーバーサイズのリボンとロゴを配したプレートが華やか。フラットシューズで履き心地も秀逸。シューズ[H0.5] ¥121,000 **6.**フォルムの美しい上品なムードのブーツは、ガンチーニのオーナメントでメリハリを演出。ブーツ[H6] ¥187,000 (すべてフェラガモ / フェラガモ・ジャパン)





Gift ideas

モードなセンスが宿る厳選ホリデーギフト

Style Picks
realization: Maki Kimura

トップブランドの最新作にはホリデーギフトにぴったりの心躍るアイテムが勢揃い。上質なレザーグッズから温もり溢れるフワモコ小物まで、モードなご褒美ギフトを厳選!

1.Hermès 鮮やかなオレンジにピンクのトレサージュがプレイフル。ウォレットバッグ「ケリー」トゥー・ゴウ [W19.7xH11.5xD11.5] ¥1,232,000 (エルメス/エルメスジャパン) 2.Louis Vuitton アイススケートをするメゾンのマスクト「ヴィヴィエンヌ」がキュート。バッグ「ナノスピーディ」 [W16xH10xD7.5] ¥280,500 (ルイ・ヴィトン/ルイ・ヴィトン クライアントサービス) 3.Dior アイコンバッグのマイクロサイズ。星座が輝く空に蝶が羽ばたく華やかなデザイン。バッグ「レディ ディオール」 [W10xH12xD5] ¥960,000 (ディオール/クリスチャン ディオール) 4.Bottega Veneta 人気のカセットシリーズから遊び心溢れるギザギザデザインが登場。知的グリーンが効いて。財布 [W9xH11.5xD1] ¥93,500 (ボッテガ・ヴェネタ) 5.Burberry ギフトの定番。マフラーは大胆な大きめチェックとマニッシュなカラーリングで特別感を添えて。マフラー [W30xH168] ¥74,800 [予定価格] (バーバリー/バーバリー-ジャパン) 6.Loewe 日本人アーティストデュオ「スナ・フジタ」とのコラボコレクションによるノスタルジックなニット帽。帽子 ¥47,300 (ロエベ/ロエベ ジャパン クライアントサービス) 7.Valentino Garavani スワロフスキーのキラキラロゴが特別な日のヘアスタイルに最適。ヘアクリップ ¥106,700 (ヴァレンティノ ガラヴァーニ/ヴァレンティノ インフォメーションデスク) 8.Max Mara テディベアコート生地を使ったキュートなサイズのミニバッグはホリデー感満載。バッグ「テディベア ミニバッグ」 [W13xH20] ¥48,400 (マックスマラ/マックスマラ ジャパン) 9.Celine モダン&シックなラムスキンのグローブはどんなスタイリングにもマッチ。グローブ ¥102,300 [予定価格/12月発売予定] (セリーヌ バイ エディ・スリマン/セリーヌ ジャパン) 10.Prada ふわふわなシアリングのトライアングルがフェスティブムードを盛り上げる。ヘアクリップ ¥64,900 [予定価格] (プラダ/プラダ クライアントサービス) 11.Saint Laurent シェロンキルティング×ゴールドチェーンがホリデーシーズンのお出掛けにぴったり。バッグ「カサンドラ クラシックチェーンウォレット」 ¥214,500 [W22.5xH14xD4] (サンローラン バイ アンソニー・ヴァカレロ/サンローラン クライアントサービス)

Get Sparkled

フェスティブシーズンは煌めく小物を味方に

Style Picks
realization: Maki Kimura

華やかなシーンが増える年末年始はメタリックカラーやクリスタルストーンを纏ったキラキラ輝くアイテムが大活躍。バッグやシューズをプラスして一気に煌めきアップ!

1.Chanel メタリックパープルがプレイフルな煌めきをプラス。セットの星型ポーチでさらに気分を上げて。バッグ [W19xH12.5xD5] ¥941,600 (シャネル/シャネル カスタマーケア) 2.Fendi 光り輝く夜空をクリスタルでロマンティックに表現。バッグ [W27xH15xD6] ¥687,500 [予定価格] (フェンディ/フェンディ ジャパン) 3.Gucci 人気バッグもマイクロサイズ&チェーンストラップでパーティー仕様に。バッグ [W12xH16.5xD6] ¥237,600 (グッチ/グッチ クライアントサービス) 4.Prada モードにキラキラを取り入れるならブラックサテン×クリスタルが最強タッグ。バッグ [W15xH19xD10] ¥445,500 [予定価格] (プラダ/プラダ クライアントサービス) 5.Ferragamo アイコニックなヒールが目を引くポインテッドトゥならどんなお出かけシーンにも程よい輝きをオン。靴 [H5.5] ¥137,500 (フェラガモ/フェラガモ-ジャパン) 6.Coach ピンクのスパンコールをちりばめたマイクロミニサイズバッグで大人カワイイを極めて。バッグ [W12xH8.5xD4] ¥44,000 (コーチ/コーチ ジャパン) 7.Givenchy 定番ブーツのストラップとロックから着想を得たデザインにキラキラのストラップをたっぷりあしらって存在感抜群。バッグ [W20xH19xD14.5] ¥407,000 (ジバンシィ/ジバンシィ ジャパン) 8.Christian Louboutin サテン風の光沢を纏ったスモースレザーを大人ピンクで彩った「ミスジェーン」。靴 [H5.5] ¥130,900 (クリスチャン ルブタン/クリスチャン ルブタン ジャパン) 9.Chloé クリスタルの矢が手刺繍された華やかなクラッチでパーティーの視線も独り占め。バッグ [W20xH10xD5] ¥707,300 (クロエ/クロエ カスタマーリレーションズ) 10.Balenciaga メタライズしたラムスキンにアンティーク調のシルバメタルがアクセント。バッグ [W30xH14xD4.5] ¥280,500 (バレンシアガ/バレンシアガ クライアントサービス) 11.Jimmy Choo 印象的なグリーンとクリアのクリスタルがグラマラスな一足。アングレットにもクリスタルをあしらってどこまでも華やかに。靴 [H10] ¥277,200 (ジミー チェウ)

洗練のダウンジャケットで
あたたかさと幸せを手に入れる

マツでシルキーな手触りのダウンジャケットは、オフホワイトベースにカーキとネイビーを配色した、センスフルなカラーコンビネーション。カーキベースとのリバーシブルなので、2通りの着こなしを楽しめる。インナーはタートルニットを合わせたり、ダウンベストを重ねたりと、スタイリッシュなレイヤードを楽しんで。(左)ダウンジャケット¥612,700 ダウンベスト¥542,300 ニット¥402,600 パンツ¥385,000 (右)ダウンジャケット¥612,700 ニット¥236,500 パンツ¥108,900(すべてロロ・ピアーナ / ロロ・ピアーナ ジャパン)



Loro Piana

極上の温もりに包まれる
「ロロ・ピアーナ」と
過ごす冬の休日

雪の降るホリデーシーズンの幕開けを告げる、「ロロ・ピアーナ」のホリデーコレクション。アウトドアシーンを快適に過ごすダウンジャケットからニューイヤーを祝うためのスーツまで、冬の幸せな空気を選ぶ、ラグジュアリーなリゾートスタイルを紹介。

photos: Yoshiyuki Nagatomo
styling: Miyuki Uesugi (sense of humour)
hair: Kenichi (sense of humour)
make-up: Yumi Endo (eightpeace)
model: Denise Ascuet (unknownmodel management),
Sam Thomason (west management)
realization: Atsuko Kobayashi



極上のもこも素材で叶える
特別なウィンターホワイト

超軽量ナイロンと、カシミアにシルクをブレンドしてファーのように超毛させたキャッシュファアのリバーシブルジャケットは、スポーツとリラククス両方のテイストを楽しめる一着。キャッシュファアのフードネックをレイヤードし、シアリングのパンツを合わせれば、贅沢な全身ホワイトコーディネートに。ジャケット¥1,102,200 パンツ¥1,434,400 ネックフード¥227,700 ホームブーツ¥166,100(すべてロロ・ピアーナ / ロロ・ピアーナ ジャパン)



〈右ページ〉
年末のセレブレーションは
ブラックスーツでスマートに

リゾート地でのドレスアップに準備しておくべきは、シックで上質なブラックスーツ。レディスはストライプウールのダブルブレストジャケットに、ストレートパンツのセットアップ。メンズのスーツはクラシックなシングル2つボタンのジャケットに細身のパンツの組み合わせ。インフォーマルなシャツをさらっと合わせ、リラックス感のあるコーディネート。〈左〉ジャケット¥612,700 シャツ¥262,900 パンツ¥333,300 〈右〉スーツ¥752,400 シャツ¥91,300 (すべてロロ・ピアーナ / ロロ・ピアーナ ジャパン)

〈左ページ〉
アウトドアシーンに咲く
芸術的なフラワータペストリー

カシミア×モヘアのプルオーバーニットは、編み上げたファブリックにプリントを施し、最後に手仕事で起毛仕上げすることによって、陰影のあるフラワープリントが表現された一枚。ドロコード使いや、フロントポケットなど、アウトドアテイストを取り入れたデザインが、冬のレジャーシーンにマッチする。ニット¥822,800 (ロロ・ピアーナ / ロロ・ピアーナ ジャパン)



TAG HEUER

限定モデルにかける熱い思い 「タグ・ホイヤー」と「チーム イクザワ」が コラボレーション

モーターレースに縁が深い「タグ・ホイヤー」は、日本人のレーシングアイコン「チーム イクザワ」とコラボレーションを実現。世界的なカスタマイザーであるバンフォードも加わり、洗練されたモダンなデザインの中に熟練した技術が宿る、特別な限定ウォッチが誕生した。

photos: © TAG HEUER (still), Tomoko Hagimoto (portrait)
text: Tomoko Kawakami

スイスのラグジュアリー時計ブランド、「タグ・ホイヤー」は、日本のモーターレースのレガシーを継承する「チーム イクザワ」、そして著名なカスタマイザーのジョージ・バンフォードとコラボレーションしたスペシャルな時計を発表した。「タグ・ホイヤー カレラ × チーム イクザワ by バンフォード」と名付けられた限定モデルは、伝説のレーシングドライバー生沢徹のレガシーとモダンカルチャーやストリートファッションを融合させたデザインが特徴。そのクリエイションの中心となっ

たのが生沢徹の娘で現在、ロンドンを拠点にクリエイティブ・ディレクターやデザイナーとして活躍する生沢舞だ。チームのアイコンックなデザインを想起させる白と赤を大胆に用いた時計を、カスタマイズの天才として名高いジョージ・バンフォードがさらにスペシャルなものへ昇華する。「タグ・ホイヤー」の最先端の技術とバンフォードの無限の創造性、そこに生沢舞の芸術性が加わり、さまざまな要素が共鳴しながらも洗練された時計が完成した。



「タグ・ホイヤー」×「チーム イクザワ」の共同ブランドによる特別デザインのパッケージに取められた今回のコラボレーションモデル。日本における生沢徹のレースでの活躍へのオマージュとして、「ホルシェ」のミニチュアカーパーもセットされている。時計「タグ・ホイヤー カレラ × チーム イクザワ by バンフォード」[SS, SS 3列 プレスレット、タグ・ホイヤーシールド「Team Ikuzawa」の赤いマーキングとベルクロがプリントされたホワイトカーフレザーストラップ 付き、ケース径42mm、自動巻き] ¥968,000(タグ・ホイヤー / LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー)



「タグ・ホイヤー カレラ」や「タグ・ホイヤー アクアレーサー」のリニューアルのキャンペーンをリードしたジョージ・シズ。「ホルシェ」やライアン・ゴスリングとのパートナーシップ、また「任天堂」とのコラボレーション、モナコ グランプリやWatches & Wondersでのアクティベーションといった話題のプロジェクトで手腕を振るう

夢のコラボレーション誕生ストーリーを3人が語る

ジョージ・シズ(以下シズ): 実は今年、1963年に誕生した「タグ・ホイヤー」のアイコンックなコレクションで元々レーシングドライバーのために作られた時計「カレラ」が60周年を迎える記念すべき年なのです。そんな特別な年に何かできないかと考えていたとき、偶然、我々と「ホルシェ」のコラボイベントに2人が参加していたんです。
ジョージ・バンフォード(以下バンフォード): かつて「ホルシェ」のチームで活躍した生沢徹さんの娘、舞さん。そしてモーターレースに縁が深い「タグ・ホイヤー」……。これはもうタッグを組むしかない、とね。
シズ: カーレースは男性的なイメージがありますが、舞さんが加わることで、より性別の垣根を越えた仕上がりとなりました。そしてオー

センティックであることも重要でした。「チーム イクザワ」はその存在がまさにオーセンティック。単に魅力的に見せようとするのではなく、彼らが元々持っている真のかけこよさを表現したかった。
バンフォード: 私たちは何度も会話を重ね、微調整しながら作り上げました。よりこだわった点は「チーム イクザワ」のスピリットをどうやってダイヤルで表現するかということ。そして遊び心をどう織り込むかについてもチームで協議を重ねました。
生沢舞: レースの世界ではチームで作業することが大切。このプロジェクトもチームワークでやり遂げました。今回のデザインはモータースポーツに興味がない方にも好評です。日本特有のシンプルでミニマルなデザイ

ンに、皆惹きつけられるのです。白地に赤の丸というと、やはり日本を連想させますが、同時にいるいる要素を取り入れることで、それがさらに印象の強いデザインになったと思います。
シズ: 日本の顧客は非常に洗練されています。見た目の美しさと中身の品質の高さ、両方を重視し、深い理解を示してくれる。今回は、キャリアー ホイヤー 02というムーブメントを搭載し、クロノグラフとして秀逸な仕上がりになっています。それと同時に見た目の美しさにもこだわりました。この時計を身に付け、日本のレーシングヘリテージを誇りに思ってもらいたい。このプロジェクトではそれを実現できました。



(左から)「タグ・ホイヤー」チーフ・マーケティング・オフィサー(CMO)のジョージ・シズ、生沢舞、ジョージ・バンフォード



リアリティを重視した贅沢なカシミアブランド

イタリアで生まれた「ファルコネーリ」は、カシミアを中心とした贅沢な天然素材が主役のブランド。流行に左右されないタイムレスなデザインで、長く愛用できるアイテムが揃う。さらにラグジュアリーなカシミアを使いながら、手の届きやすいプライスなものも大きな魅力の一つだ。それが可能になる理由は、モンゴルから中間業者を介することなく直接、原料のカシミアがイタリアに空輸され、「ファルコネーリ」の自社工場に届くため。原材料の調達から、糸、縫製や色

彩調整など、徹底的にクオリティコントロールを行いながら、こだわりの詰まった製品を作り出している。そして、イタリアが世界に誇るクラフトマンシップに最先端の技術が融合され、「ファルコネーリ」の美しいプロダクトとして結実するのだ。「身近なラグジュアリー」を信念とし、自然と人間に敬意を払って、可能な限り環境に負荷をかけないものづくりを推し進めることで、サステナブルな未来を目指している。



3



2



1



4



5

News

この秋ミラノで初のランウェイショーを開催



今年の10月、ミラノで初めてのランウェイショーを開催。会場では、「ファルコネーリ」のカシミア糸について、その魅力を伝えるためのインスタレーションも展開された。ランウェイを彩ったのは、新作カシミアコレクションを様々なレイヤリングしたスタイル。遊び心のあるカシミアのアイテムが次々と登場した。イタリアのインフルエンサー、キアラ・フェラーニや日本のDJのマドモアゼル・ユリア、モデルの立野リカといった華やかな顔ぶれが集まるショーとなった。



原材料の探索から製造工程、糸巻きに至るまで、カシミアの旅のさまざまな段階を象徴する空間が創られたインスタレーション



会場を訪れたインフルエンサーでデジタル起業家のキアラ・フェラーニ

毎日の装いを豊かにするワードローブの定番たち

1. アイコンックなカシミア糸「ウルトラソフト2.28」は、4本の糸をより合わせたボリューム感のあるセーター用の糸。10kmにも及ぶ長い糸を使った贅沢なセーターはふんわりした感触も魅力。セーター ¥65,670 2. シンプルなタートルネックのセーターには、体温調節、伸縮性、そして通気性に優れたカシミア糸「ウルトラファイン2.50」を採用。100%カシミアの発色の美しいセーターは色も豊富に揃う。セーター ¥33,000 3. 柔らかなウルトラソフトカシミアを使用しながら、フーディーのデザインにモダンさが宿る、洗練された大人のカジュアルアイテム。パーカー ¥59,400 4. ミニマムで上品なデザインのカシミアコートはリバーシブル。ウエストをベルトでマークして女性らしいシルエットを演出。コート ¥247,500 5. カシミアの柔らかな質感が際立つ。ファアのディテールもドラマティック! コート ¥321,200 (すべてファルコネーリ/ファルコネーリ銀座店)

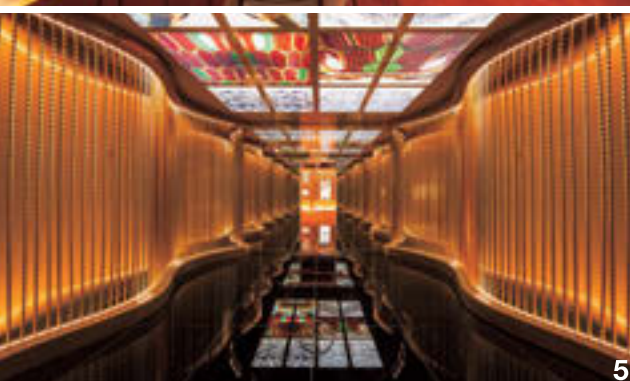


BVLGARI

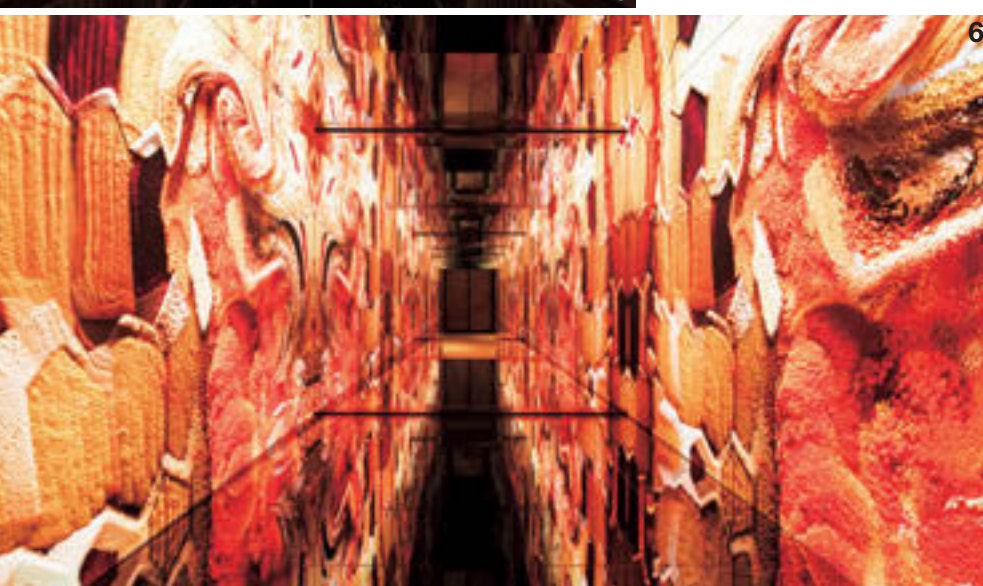
「ブルガリ」のアイコン 「セルペンティ」 誕生75周年を記念し 壮大なエキシビションを開催

さまざまな話題を熱く提供してくれた『ブルガリ セルペンティ 75周年 時を超えて紡がれる無限のストーリー展』が幕を閉じた。蛇というモチーフの意味や歴史を紹介するだけでなく、現代アートとのドラマティックなコラボレーションで、「ブルガリ」を代表する「セルペンティ」コレクションの新しい魅力を教えてくれたエキシビション。そのスペシャルな内容をレポート!

photos: ©BVLGARI
interview & text: Keiko Homma



1.「セルペンティ」のイメージがダイナミックに描かれたイベント会場の外観 2.貴重なヘリテージピースの展示が歴史を物語る 3.会場内には限定のカフェもオープンした 4.最新のハイジュエリーやハイエンドウォッチも来日し、職人技の詳細な解説が添えられた 5.「セルペンティ」の世界観を映像で体験できるエクスペリエンスルーム 6.現代アーティスト、レフィーク・アナドールとのコラボレーション作品が展示され幻想的な世界へと誘う



上海で幕を開け、ソウル、ドバイ、ミラノを巡り、東京でも11月26日まで開催された『ブルガリセルペンティ75周年時を超えて紡がれる無限のストーリー展』。オープニングパーティーには森星、Kōki、山下智久などブランドアンバサダーや各界のセレブリティたちが訪れ、グラマラスな夜に酔いしれた。このエキシビションでは1948年に誕生し、75周年のアニバーサリーを迎えた「セルペンティ」コレクションの多彩な側面を紹介。ハイジュエリーやウォッチ、ヘリテージコレクションなど、ローマからやってきた特別な品々が一堂に集まった。会場にはカフェスペースが出現したり、ドキュメンタリーフィルムが上映されたりと、ただ展示を眺めるだけに終わらない、体験型の内容が旋風を巻き起こした。

「蛇のモチーフをもっとよく知ると、それがミステリアスなパワーを持った神話的な存在で、日本を含めた多くの文化で何千年にもわたって敬われてきたシンボルだったということがわかります」と語ってくれたのは、このエキシビションのために来日したブルガリグループ CEO ジャン・クリストフ・ババン。「ブルガリ創業の地、ローマに蛇のモチーフをもたらしたのは、シーザーと恋に落ちた古代エジプトの女王クレオパ

トラでした。だから映画でクレオパトラの役を演じたエリザベス・テイラーは「セルペンティ」を身に着けたのです。そして75年前、このモチーフの特別な魅力に気づいたのはブルガリ創業者一族でした。腕に巻きつけられるモチーフなんて他にないですからね」今回大きな話題となったのは、現代アートとのコラボレーション。アーティストたちが「セルペンティ」の世界に触発されて制作した作品の数々は、まさに圧巻。「今、蛇は最も望まれるジュエリーのひとつになりつつあります。メタモルフォーゼ(変容)を象徴する「セルペンティ」は、決して進化をやめません」パワーアップし続ける伝説的アイコンは、これからも目が離せない。



ジャン・クリストフ・ババン
ブルガリグループ CEO
1959年フランス生まれ。ビジネススクールでMBAを取得後、P&G、コンサルティング会社などを経て、タグ・ホイヤー CEO に就任。2013年より現職を務める。

Collection report: Paris Fashion Week 2024 S/S

予期せぬ美しさ 2024年春夏パリコレクション

宮智泉 マリ・クレールデジタル編集長
text: Izumi Miyachi

9月25日から10月3日までの9日間開催された2024年春夏パリコレクションは、長く続いたコロナ禍から解放されて、華やかさを増した。様々な新しさが披露される中、際立っていたのは「予期せぬ美しさ」を見せたブランドだ。

「見たことのない、ありふれたもの」をテーマに掲げたのは、「ドリス ヴァン ノッテン」。

チノクロスのほか、シャツに使われるストライプのポプリン、洗いをかけたデニムなど、日常の服で使われる素材や、ラガーシャツ、グログランのリボンで縁取りされたクラブジャケット、ラグランスリーブのコートなど、定番的で保守的を受け止められがちな服を再構築し、その組み合わせと形で新たなスタイルを提案した。もともと様々な要素を自由な発想で組み合わせ、独自の世界を表現しているブランドだが、新鮮で取り入れてみたいスタイルが目白押しだった。

メアリー=ケイト・オルセンとアシュリー・オルセン姉妹が手がける「ザ・ロウ」は、世界的な潮流となっている「クワイエット・ラグジュアリー」をリードするブランド。「これみよがし」のスタイルと対極で、目立ち過ぎず上品、そして上質さを追求し、進化させている。

ジャケットやパンツなどオーバーサイズの流れの中で、トレンチコートの襟元にさりげなく巻いているのが上質のタオルだったり、足元のスリッパ風の履物だったり、意外なアイテムにちょっとっこり。ゆったりした1枚のTシャツも最高の肌触りだ。

形はシンプルながら、素材選びなど細部までこだわった作りは、着た人の心と体を豊かな気分させてくれるぜいたくさが凝縮されている。

日常着にフォーカスしながら、プロポーションの変化で新たなシルエットを打ち出したのは、「ロエベ」。会場には、アメリカの女性彫刻家リンダ・ベングリスの大きなブロンズ製の作品が6点展示された。

最初に登場したのは、デフォルメされたような大きな金ボタンをついたニットのカープ。太い毛糸で編んだ大きな編み目の細長いシルエットだ。組み合わせたのはデニムのパンツ。パンツ類は極端なハイウエストで、新たなトレンドとなりそう。ジャケットやカーディガンなどにもひねりが加えられている。

またパンツのウエストやドレスの胸元

に留めたゴールドの巨大なビンのほか、イヤリングなどは、リンダ・ベングリスによるアーティスティックなデザインだ。

「ヨウジヤマモト」は、デザイナー山本耀司の「黒」が軽やかに舞った。レースから透ける肌、カットワークから見える肌。幅や素材の異なるひもや糸を組み合わせ、その間から見える肌。そしておなかを出すスタイルでさえ、そのさじ加減が絶妙。女性と女性の肌をいかに美しく見せるか、西洋のストレートさとは異なる表現がなされている。

麻やコットンなどの薄い布を使い、短い丈も取り入れ、軽やかさが増した。麻の白は、純白ではなくかすかなオフホワイト。水玉のプリントは実はかすかにかすかれており、それぞれの水玉の色も微妙に異なっている。女性を美しく見せる服を作り続ける山本は、細部にまで徹底的にこだわり続ける。そして、終わりはないようだ。

「アンダーカバー」は、薄暗い会場に入ると、床に薄い布で覆われたシャンデリアが置かれ、鈍い光を放っていた。テーマは「Deep Mist(深い霧)」。

次々に登場するコートやパーカ、ジャケットなども薄布に覆われている。「透ける布で包まれたデザインを消した深い霧のような服」とデザイナーの高橋盾が表現したものだ。フリルを重ねて作ったドレスの絵は、高橋が描いた「肖像画シリーズ」の作品。ダークなエレガンスともいえるのか、どこかシュールで、しかも美しい。

フィナーレに登場したドレスの数々は、薄布で覆われた、まるでテラリウムのようなスカートで、内側からかすかな光を放つ。中には、バラの花や本物のチョウチョ。予期せぬ美しさに思わず息をのんだ。

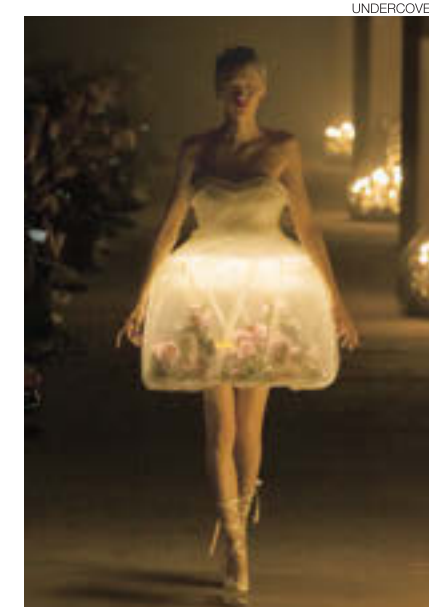
ベルギーの高級バッグブランド「デルヴォー」の展示会で見たバッグは、ベルギーの若手アーティストであるカスパー・ボスマンスとの独創的な交流で誕生した。テーマは「ミューチュアリズム(共生)」。アート、職人の技などが融合したカラフルなバッグは、みんなを幸せにしてくれそうな明るい雰囲気を出している。



ヨウジヤマモト



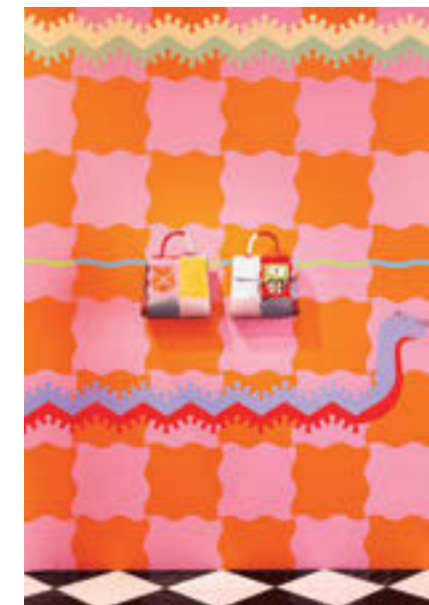
ドリス ヴァン ノッテン



アンダーカバー



ザ・ロウ



デルヴォー



ロエベ

街でもコースでも活躍する
フレンチシックなゴルフスタイル

クラシックとカジュアルが共存する「マリ・クレール」らしい上品さが魅力のゴルフウェア。ロゴとボダーを大胆にあしらったニットセーターは、普段使いもできる高感度なデザイン。プリーツをアシメトリーにあしらったスカートと合わせフレッシュな着こなしで。セーター スカート各¥10,780 手に持ったブルゾン ¥9,790 サンバイザー¥4,620 ソックス¥1,650 (すべてマリ・クレール スポーツ/ニッキー)



ポジティブな気分を呼び込む
彩り豊かなウォレット

上品で端正な型押しカウレザのウォレットは、カラーリングやチャームで遊び心を発揮。手にした時に美しく映えて、お出掛けが楽しくなりそう。充実の収納を備えた長財布とコンパクトなのに容量も充分な二つ折り財布。機能面もしっかり考慮されているのが嬉しい。(上から)長財布¥17,600 Lファスナー長財布¥15,400 二つ折り財布 ¥15,400(すべてマリ・クレール パリ/AJIOKA)



さりげなさが魅力
ライトカラーの上品サングラス

華奢なメタルフレームのサングラスは、サイドにあしらったワンポイントで横顔も表情豊かに。UVカットの機能を備えながら、目元が透ける薄いトーンのレンズなので日常にも取り入れやすいのが魅力。秋冬のスタイルに似合うシックなカラーリングを選んで。サングラス各 ¥14,300(マリ・クレール パリ/三共社)

marie claire

旅やスポーツへと気分を駆り立てる
「マリ・クレール」の最新作

フランスを代表する女性誌『marie claire』の世界観を提案するライフスタイルブランド。その幅広いラインナップから、今号は、秋が深まる季節に、旅やスポーツなど、お出かけシーンを小粋に彩るアイテムをご紹介します。ロゴのアクセントやディテールで、さりげない遊び心を凝らしたデザインに心が躍る!

photos: Hisashi Ogawa
styling: Masumi Yakuzawa (TRON)
hair & make-up: Ryoki Shimonagata
model: Caroline Pincebourde (unknownmodel management)



フリルをドッキングした
スタイリッシュなパーカー

エレガントなスタイルが人気の「セルフード」と「マリ・クレール」のコラボレーションアイテムが登場。パーカーの裾にフリルが映くレイヤードデザインは、カジュアルながら1枚で絵になる華やかさ。トップス ¥23,100 [marie claire × CELFORD] ハズツ ¥15,400 ブーツ ¥25,300 (すべてセルフード/セルフード ルミネ新宿1店)

ビジューのロゴが煌めく
華やかなニット

ビジューを敷き詰めた「marie claire」のロゴが印象的なニットプルオーバー。こちらも「セルフード」とのコラボレーションアイテム。アルパカをブレンドした暖かみのある素材を使用し、ボートネックやクロップド丈が今どきのバランスを演出する。リボンタイ付きのワンピースとのレイヤードも好相性。ニットプルオーバー ¥23,100 [marie claire × CELFORD] ワンピース ¥27,500 (ともにセルフード/セルフード ルミネ新宿1店)



News

キッズのためのおしゃれな
スノーウェアが登場!

「マリ・クレール」のキッズライン「マリ・クレール アンファン」から、スキーや雪遊び、そして雪の日の通園通学にも活躍するスノーウェアが登場。優しいバステルカラーとアニマルプリント、そしてフードの内側にあしらわれたボアが可愛いデザイン。ウェアの内側にある紐で袖や足丈の長さが調整できる。スノーウェア上下セット ¥10,780 (マリ・クレール アンファン/ニッキー)

若々しさの決め手は、「健やかな頭皮&髪」

「エイジングケア=顔のお手入れ」と考えがちだけれど、実は印象の決め手は、髪質感とシルエット。冬は、髪のダメージや乾燥が気になりやすい季節。最新の製品&ギアなら、誰でもプロ級のケアとスタイリングが叶う。理想の頭皮とツヤ髪を手に入れるなら、今。

6.ReFa

100%天然猪毛ブラシで髪のクオリティを高める新しい年を美しい髪で迎えるためにも、毎日使うツールの見直しを。プロに愛され続け、「一生もの」と言われる猪毛ブラシ。髪の毛分と水分のバランスを整え、摩擦を防ぎ、この時期特有の惱ましい静電気を抑制。キューティクルの開きを補正するから、日々髪をとかすだけで、自然にツヤとまとまりがアップ。リファプリッスル ¥28,800/MTG

7.KOBAKO

2つの名品で冬の頭皮環境を整える ツールブランド「KOBAKO」と、スイスのオーガニックコスメ「ヴェレダ」がコラボレーション。限定色のブラシと、頭皮用クレンジングがセットに。KOBAKO X WELEDA コラボレーション「リリスマインド ヘアケアギフト」[内容:KOBAKO ヘアスームスブラシ(ハード・フォレストグリーン)限定色、WELEDA ローズマリー スカルブクレンジング 200g] ¥6,380(11月22日限定発売)/貝印

8.SALONIA

ダメージを防いでつるんとツヤ髪にスタイリング 年末こそ、毎朝使うヘアアイロンをアップデートするチャンス。多機能な最新機種なら、電源を入れてから約35秒で設定温度に達し、特殊なプレートで髪を穏やかに温め、ダメージを予防。バサッという広がりやすい髪が扱いやすく、スタイリングが簡単に。スームスシャイン ストレートヘアアイロン 24mm グレー ¥13,200/Ine

9.Dyson

ホリデーシーズン限定カラーの多機能ドライヤー 人気ドライヤーに限定色が登場。なめらかなツヤ髪へ導くドライヤーは、3つの便利なアタッチメントが付属する。注目は、「ツヤ出しツール」。うねる髪をまっすぐ整え、なめらかに。浮き毛抑制モードと併せ使用することで、髪の見え年齢がグッと若々しく、Dyson Supersonic Shine ヘアドライヤー ピンカブルー/ローズ オープン価格/ダイソン



Salon Information



話題の新ヘアサロンで頭皮のエイジングケア

新施設「麻布台ヒルズ」に「カキモアームズ」のサロンがオープン。ヘアカラー専門のカラーリストによる施術や、ネイル、ヘッドスパ、眉毛とまつ毛のケアまで。メンズ専用サロンも備え、あらゆるケアに対応。注目は頭皮スパ。[石井クリニック]と共同開発し、「針のない注射」といわれる「エレクトロポレーション」で頭皮に成長因子を届ける。若々しい美髪はすぐそこ。ヒト幹細胞上清液・エクソソーム頭皮スパ 75分 ¥36,000 麻布台ヒルズ限定「頭湯浴メディテーションスパ」もある。

[kakimoto arms AZABUDAI HILLS]
東京都港区虎ノ門5-9-1 麻布台ヒルズ ガーデンプラザB 2F
予約:03-6432-4636 営業時間:10:00~20:00

最高のご褒美に、ラグジュアリーなボディケア

疲れや冷えが気になるこの時期は、積極的にボディを労りたいもの。蓄積するストレスを解き放ち、丁寧に時間をかけてケア。香りに包まれ、たっぷりとうるおいを与えて……。自分へのご褒美はもちろん、ギフトにしても、大切な人の笑顔が見られそう。

text: Kiriko Sano

6. ReFa

贅を極めた浴び心地の先進シャワーヘッド こだわりの微細な気泡を含む水流を、大きなヘッドでたっぷり浴びることができ、付け替え式の大型タイプ。汚れを浮かせて落とし、使うたびにうるおい肌へ。浴槽へ入れて「バブル浴」も可能。マッサージモードを搭載した5つの水流モードは、ダイヤルで簡単に切り替えられる。リファファインバブル ダイア 150 マットブラック ¥75,000/MTG

7. SNOW FOX

オイル&カッサで一年の疲れをまとめてリリース 注目の成分「バクチオール」を含んだ贅沢なオイル美容液と、台湾の陶磁器職人が手がけたカッサ。ヘアで使えば、日々蓄積しがちなコリを的確にほぐすことができ、すっきりとした「本来の姿」を取り戻そう。プレミアム フェイス & ボディ磁器 カッサ ¥9,900、ハーバルユース フェイス & ボディ オイル 30ml ¥14,300/ともにApex Commerce

8. BAUM

暮らしのなかの「森林浴」で癒やしの時間 冬の森がモチーフのモダンなギフト。豊かな泡立ちのハンドウォッシュで洗ったら、湖畔の木々のような、爽やかなワッディな香りのハンドクリームでケアして。アロマティック ハンドケアセット 1 [内容:バウム アロマティック ハンドクリーム1(ウッドランド ウィンズ)75g、同 ハンドウォッシュ 300ml] ¥7,150(限定発売)/BAUM

9. CONDENSÉ

パリの情景を映し出すフレグランスソープ ナタリー・ラモンデ氏による、自然由来と機能性を両立させたフレグランスソープ。バリの名所に基づくコレクションより、さりげなく香り立つソープを、ジャスミンとパチュリが立ち上るロマンティックな香り。《バリのフレグランス》ドフィーヌ広場のそぞろ歩き パフュームド ソープ FP 100g ¥4,290/ドルチェ・ヴィータ・エッセンティアリー

Salon Information



「ディオール」のラグジュアリーなスパが表参道に誕生 表参道の好立地にあるスパで、「ディオール」のスキンケア&ボディケアの粋を集めたトリートメントを体験。セラピストのカウンセリングにより、メニューは当日セレクト可能。プレミアムな「ディオール プレステージ」シリーズを用いたプログラムも。*ディオール プレステージ フェイス・デコルテ&バックトリートメント 90' 90分(フェイス・デコルテ60分、ボディ 30分) ¥38,500

「表参道ディオール ラ スイート」
東京都渋谷区神宮前4-12-10 表参道ヒルズ 本館1F
ハウス オブ ディオール ビューティー 表参道
予約:03-6455-4341
営業時間:11:00~21:00(日曜日は11:00~20:00)

1. IGNIS

手軽にゆず湯気分をバスタイムを至福の時へ ゆずを基調とした深みのあるシラスウッドの香り。いつもの浴槽が瞬時に癒やしの空間へ。海塩を配合し、就寝前の心身をほっこりと包み込んでくれる。夜の森をイメージした穏やかな色使いのボックス入りで、ギフトとしても最適。ナイヴェル バスパウダー 25g×10包 ¥2,420(限定発売)/イグニス

2. MOLTON BROWN

ゲルマン調の香りで穏やかな年末を迎えて クリスマスツリーに飾れるバス&シャワージェルは、まるでジュエリーのよう。冬の柑橘やスパイスの香りが温かなムードを醸し出す。ロンドン発。英国王室御用達ならではのクラス感インテリアとしても映えそう。マーヴェラス マンダリン & スパイス バス & シャワージェル フェスティボブル 75ml ¥2,750/モルトン ブラウン

3. HOSOO

シルクの恵みで冬の肌をそっと包み込む 京都の西陣織に使われるシルクに着目。シルク由来成分「セリシン」は、濡から絹糸を作る際に抽出され、低刺激で高い保湿効果が得られるため、近年はコスメにも活用。手とボディに使えるクリームは、ふわっとスムースな使い心地で、すべすべの上質肌へ導いてくれる。ハンド&ボディクリーム 250g ¥9,350/HOSOO FLAGSHIP STORE

4. ALBION

スリランカの植物由来のケアで心身をデトックス スリランカ伝統植物研究所で栽培された植物を採用した、新たなボディケアが登場。アーニクルヴェーダに着想を得たボディ洗浄料は、たっぷり手にとり温めてマッサージするように使って。ストレスをじんわり解きほぐす心地よいテクスチャーと、心にもまで深く染み渡るようなハーバルな香りに夢中。スパランカ オイルウォッシュ 250ml ¥4,400/アルビオン

5. VERDANT ALOHEMY

“お風呂で香りを纏う”アロマバスオイルの新習慣 ユニークな使い方の英国発・多機能バスオイル。体を洗ったあと、首やデコルテ、腕にオイルを塗ってマッサージ。そのまま湯船に浸かって芳香浴を。お湯がミルク色に変化し、美容成分がしっとり肌を整える。眠りの質を向上させる香りがおすす。ヴァーダントアルケミー 3in1 バスオイルドリフト オフ 100ml ¥8,800/リクルジャパン

「美の革命」の全貌を解き明かす およそ50年ぶりの大キュビズム展へ

text: Saya Tsukahara



ロベール・ドローネー(パリ市) 1910-1912年
Centre Pompidou, Paris, Musée national d'art moderne - Centre de création industrielle (Achat de l'État, 1936. Attribution, 1937)
© Centre Pompidou, MNAM-CCI / Georges Meguerditchian / Dist. RMN-GP



フェルナン・レジェ《婚礼》1911-1912年
Centre Pompidou, Paris, Musée national d'art moderne - Centre de création industrielle (Don de M. Alfred Flechtheim en 1937)
© Centre Pompidou, MNAM-CCI / Philippe Migaut / Dist. RMN-GP



フラン・グリス《朝の食卓》1915年10月
Centre Pompidou, Paris, Musée national d'art moderne - Centre de création industrielle (Achat, 1947)
© Centre Pompidou, MNAM-CCI / Philippe Migaut / Dist. RMN-GP

国立西洋美術館で、日本では約50年ぶりとなる「キュビズム」の大型展覧会が開催中だ。世界屈指の近現代美術コレクションを誇るポンピドゥーセンターの所蔵品から、キュビズムの歴史を物語る作品が揃う。主要作家約40人による絵画を中心に、彫刻や素描、映像作品など約140点を展示。そのうちの50点以上が日本初出品だ。キュビズムがどのように生まれ、どう変化を遂げていったのか。芸術家たちの葛藤と実践を追うことができる。

キュビズムは20世紀初頭、パブロ・ピカソとジョルジュ・ブラックによって生み出された。本展は誕生の「前夜」からスタートする。その頃、ピカソやブラックをはじめとする多くの芸術家が、モンマルトルにある「洗濯船」と呼ばれた集合住宅兼アトリエに集った。新たな絵画を求める画家たちの間で、注目を集めた芸術がある。例えば、独学で絵を始め、独創性に驚きと嘲笑を呼んだアンリ・ルソー、遠近法を無視して自然を簡素な幾何学的形態で描き、複数の視点を一枚の絵に取り込んだポール・セザンヌ、アフリカやオセアニアの造形物などだ。

これらに刺激を受けたピカソは、1907

西洋美術の歴史に大きな変革をもたらしたキュビズム。パリ・ポンピドゥーセンターの所蔵品が多数来日し、その起源から影響までを一度に見られる。衝撃を迫体験して。

大きい風景や人物群像を描いた。ロベール・ドローネーの《パリ市》はパリの街と裸婦像が組み合わせられた幅約4メートルの大作で、今回が初来日となる。マルク・シャガールやアメデオ・モディリアーニなど、フランス国外から来た芸術家たちは、モンバルナスのアトリエ「ラ・リュッシュ(蜂の巣)」に集まり、キュビズムを吸収して自身の作風を生み出した。彼らの作品のほか、ファン・グリス、フェルナン・レジェなど、キュビズムを発展させた画家の作品が多数展示されている。さらに、ロシアや東欧の芸術家への影響、デュシャン三兄弟による彫刻作品、建築や装飾芸術への展開など、キュビズムが多面的に広がっていくさまを展覧する。

第一次世界大戦下では多くの芸術家が動員されたうえ、フランス国内で古典的な油彩画に回帰する動きが顕著になり、反キュビズムが唱えられた。孤立の中で生み出された作品、そして戦後にキュビズム以降の芸術運動として台頭した、アメデオ・オザンファンとル・コルビュジエによる「ピュリスム」、レジェの「機械美学」までを追いかける。キュビズムがいかに派生していったか、影響の大きさに驚かされることだろう。

Exhibition data
パリ・ポンピドゥーセンター
キュビズム展 一美の革命
ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ
会場: 国立西洋美術館
住所: 東京都台東区上野公園7-7
会期: 2024年1月28日(日)まで
開館時間: 9時30分～17時30分
(毎週金・土は20時まで) ※入館は閉館の30分前まで
休館日: 月曜日(ただし、1月8日(月・祝)は開館)、12月28日(木)～1月1日(月・祝)、1月9日(火)
問い合わせ: 050-5541-8600(ハローダイヤル)

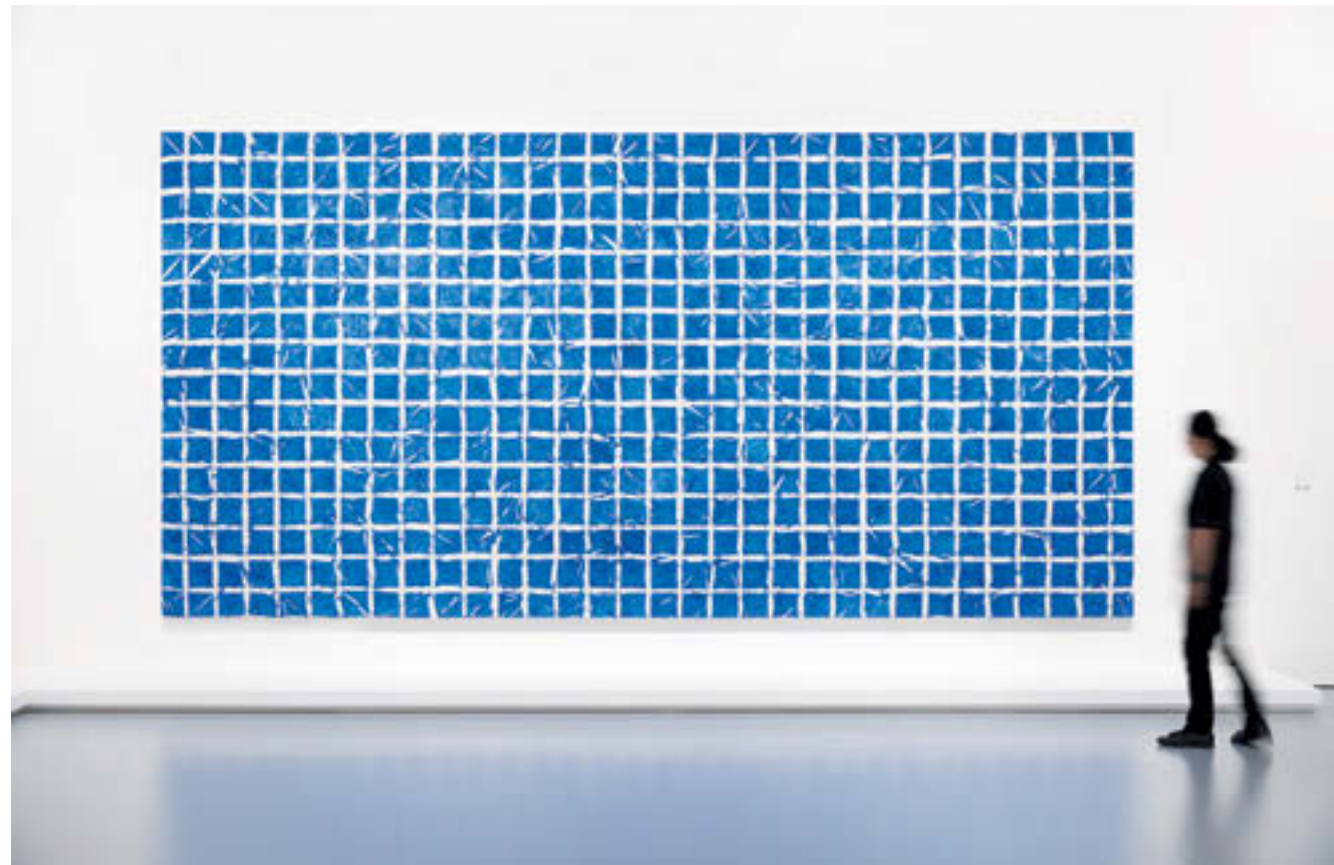


アメデオ・モディリアーニ《女性の頭部》1912年
Centre Pompidou, Paris, Musée national d'art moderne - Centre de création industrielle (Achat, 1949)
© Centre Pompidou, MNAM-CCI / Philippe Migaut / Dist. RMN-GP

2人の天才画家によるキュビズムの探究は、第一次世界大戦で終わりを迎える。だが、その影響は多くの芸術家におよんだ。パリのサロンで展示を行った「サロン・キュビスト」の画家たちは、スケールの

謎多き抽象画家、シモン・アンタイ。 世界初公開作品を含む回顧展で創作を辿る

text: Saya Tsukahara



TABULA, MEUN 1975年
エスパス ルイ・ヴィトン大阪での展示風景(2023年)
折り畳まれたキャンバスにアクリル絵具 / 291 × 584 cm
Courtesy Fondation Louis Vuitton, Paris
Photo credits : © Jérémie Souteyrat / Louis Vuitton



SIMON HANTAÏ - FOLDING
エスパス ルイ・ヴィトン大阪での展示風景(2023年)
TABULA 1980年
折り畳まれたキャンバスにアクリル絵具 / 290 × 465 cm
TABULA 1980年
折り畳まれたキャンバスにアクリル絵具 / 290 × 470 cm
Courtesy Fondation Louis Vuitton, Paris
Photo credits : © Jérémie Souteyrat / Louis Vuitton



MARIALE m.a.4, PARIS 1960年
キャンバスに油彩 / 226.2 × 207 cm
© Archives Simon Hantai / Adagp, Paris 2023
Photo credits : © Primae / David Bordes



ÉTUDE, MEUN 1969年
キャンバスに油彩 / 270.5 × 235 cm
© Archives Simon Hantai / Adagp, Paris 2023
Photo credits : © Primae / Louis Bourjac

アートスペース「エスパス ルイ・ヴィトン大阪」の空間を満たす、色とりどりの絵画作品。フォンダシオン ルイ・ヴィトンはシモン・アンタイの作品を多数所蔵し、今回、その中から世界初公開の2作品を含む9点が展示されている。これまで日本で大きな展覧会が開かれたことはなく、複数の作品を間近で観られる貴重な機会だ。

アンタイは生前も評価された画家だが、2008年に亡くなった後、再び注目を集めている。2013年にはポンピドゥー・センターで大規模な展覧会、昨年にはフォンダシオン ルイ・ヴィトンで生誕100周年を記念した回顧展が開かれた。その創作活動はいまだ謎に包まれている。アンタイは1980年代半ばに表舞台から姿を消し、時折作品を発表するも、長く沈黙の期間が続いた。没後、アトリエに残された作品によって、その間の創作活動が明らかになったのだ。

アンタイは1922年にハンガリーで生まれた。ブダペスト美術学校で学び、1949年にパリへ移住する。シュルレアリスムに傾倒したが、やがて同運動の創始者、ア

ンドレ・ブルトンと袂を分かつ。そして、アクション・ペインティングで描かれたジャクソン・ポロックの作品に、大きな影響を受けた。キャンバスを折り畳んだり、くしゃくしゃにしたりして色を塗り、開いた時に現れる空白やしわの偶然性を生かして、作品を展開していくようになる。今回の展示作品はすべて、この「折り畳み」の手法で制作された絵画だ。

初めに紹介されるのが、1960年代に制作された最初の「折り畳み」シリーズ「Mariales(聖母マリアのマント)」。「自己生成する絵画を神の子の顕現になぞらえ、神学的な側面が強調されている。当時の批評家は、ジョット・ディ・ボンドーネの《莊嚴の聖母》(1310年頃)からの影響を指摘した。このシリーズでは、折り込まれて色の付かなかった部分に着色が施されている。

続く1969年作の「Études(習作)」シリーズでは、空白部分が彩色されることなく残された。アンリ・マティスの切り絵にヒントを得たという。白によって引き立てられた色彩のパターンが、キャンバスの外へ広がっていくような躍動感がある。

「エスパス ルイ・ヴィトン大阪」で、フランスの現代美術家、シモン・アンタイの回顧展「Folding」が開催されている。革新的な技法を生み出し、没後、再評価が進む孤高の画家だ。

1970、80年代に制作された「Tabulas」シリーズからは、3点が展示されている。キャンバスに結び目を作って折り畳み、四角形の反復を生み出したシリーズで、色、サイズ、余白など、さまざまなバリエーションが存在する。油彩の「Mariales」「Études」に対し、アクリル絵具が使われたことで、軽やかな印象に変化した。本展では青色で描かれた作品が展示され、2点が世界初公開だ。四角の一つ一つが折り畳みによって生じる「気まぐれ」を反映し、絵画の中に絵画が作られている。

最後の一点《Sans titre》(1984年)は、死後に公開された作品だ。青、茶、黄などのアクリル絵具が万華鏡のようにちりばめられた本作は、「折り畳み」を繰り返して制作されたことがうかがえる。アンタイは1982年、ヴェネツィア・ビエンナーレにフランス代表として作品を出品し、アーティストとしての成功を手にした後、自ら表舞台から退いた。以降、1990年代に「Tabulas」を切り刻むことで生み出した「Laissées(落とし物)」シリーズを発表したほか、作品を販売することも、取材を受けることもなかった。しかしその間も、一筋に創作し続けていた。アートシーンからあえて逃避し、絵画を探究したアンタイ。「折り畳み」の進化を見つめて歩くと、試行錯誤の道りと孤高の創作人生が胸に迫る。

Exhibition data
シモン・アンタイ「Folding」
会場: エスパス ルイ・ヴィトン大阪
住所: 大阪市中央区心斎橋筋2-8-16 ルイ・ヴィトン メゾン 大阪御堂筋 5F
会期: ~2024年2月4日(日)
開館時間: 12時~20時
休館日: ルイ・ヴィトン メゾン 大阪御堂筋に準じる
問い合わせ: 0120-00-1854
料金: 無料

本展は、フォンダシオン ルイ・ヴィトンが所蔵する選りすぐりのコレクションを世界的に紹介する「Hors-les-murs(壁を越えて)」プログラムの一環として企画された。このプログラムは大阪のほか、ミュンヘン、ヴェネツィア、北京、ソウル、東京のエスパス ルイ・ヴィトンで展開されている。



SANS TITRE #503, PARIS 1984年
キャンバスにアクリル絵具 / 301 × 451 cm
© Archives Simon Hantai / Adagp, Paris 2023
Photo credits : © Fondation Louis Vuitton / Marc Dommage

この秋のホットなニュースをお届け

Johnstons of Elgin 英国王室御用達のラグジュアリーニットウェアブランド 「ジョンストンズ オブ エルガン」

text: Tomoko Kawakami



スコットランド中心部にある工場。現在でも未加工の繊維を最高品質のカシミア製品に仕上げる約30の工程は、この工場で行われている。色のライブラリーには7500種類以上の染料が揃う



創業者の息子ジェームス・ジョンストン。1851年、カシミアコートの繊維を最初に英国に持ち込み、機械的に処理するシステムをいち早く開発

1 797年にスコットランドで創業した世界最高級の贅沢なカシミアと上質なウールを扱う老舗ラグジュアリーブランド「ジョンストンズ オブ エルガン」をご存じだろうか。創業から現在に至るまで家族経営により確固たる信念に基づいた物作りを続け、英国王室御用達としても知られるニットウェアブランドだ。カシミアとメリノウールの原糸を自社工場で作成し、それを用いて仕上げられる美しい製品。しっとりした肌触りや艶のある柔らかなカシミアの風合いは、2世紀以上にわたる経験で磨かれた伝統的な技法や職人たちの優れた技術によって生まれる。ブランド創業の地エルガンの工場

染色・混紡から紡績などまで、すべてを行い、100%再生可能エネルギーの使用を目指すなど、サステナブルな物作りにも積極的に取り組んでいる。さらにニット繊維の源である動物の健康や畜産民の生活確保のため、持続的な草地管理も支援する。2023年には、社会的・環境的パフォーマンス、透明性などにおいて、高い基準を満たした企業に与えられる「Bコーポレーション認証」も取得している。環境や社会に心を寄せながら、伝統的な技術を継承し、美しいカシミアニットを届け続けるブランド「ジョンストンズ オブ エルガン」。その上質なコレクションをあなたのワードローブにも加えてみては。



今季はスコットランド北部のオークニー諸島の自然が着想源。鳥々の荒々しさと色彩をモダンなテイストで表現。(左) ナチュラルなカラーの艶やかなカシミア小物が勢揃い。ストール¥41,800 ビーニー帽¥29,700 カシミアグローブ¥19,800 (中) 鮮やかな赤のカシミアのケーブルニットは今季のキーピース。セーター¥107,800 (右) フェアアイル模様など、スカンジナビアのテイストも取り入れている。セーター ¥143,000 (すべてジョンストンズ オブ エルガン/ジョンストンズ オブ エルガン)

shop list 掲載商品のお問い合わせ先

- アイエ(サロニア) tel: 0120-333-476
- アーユルマスター tel: 045-271-5587
- アルピオン tel: 0120-114-225
- アンダーカバー tel: 03-3407-1232
- イグニス tel: 0120-664-227
- ヴァンション・コンスタタン tel: 0120-63-1755
- ヴァンティン インフォメーションデスク tel: 03-6384-3512
- ヴァン グループ&アパレル デスク tel: 0120-10-1906
- MTG(リファ) tel: 0120-467-222
- LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン タグホイヤー tel: 03-5635-7054
- エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
- 貝印株式会社 お客様相談室(KOBAKO) tel: 0120-016-410
- カルティエ カスタマー サービスセンター tel: 0120-1847-00
- クック クライアントサービス tel: 0120-99-2177
- グラフィックヤマトジャパン クライアントサービス tel: 0120-667-687

- クリスチャン ディオール tel: 0120-02-1947
- クリスチャン ルブタン ジャパン tel: 03-6804-2855
- クロエ カスタマーリレーションズ tel: 03-4335-1750
- ケラスターゼ tel: 03-6911-8333
- ゼランお客様窓口 tel: 0120-140-677
- ザ・ロウジャパン tel: 03-4400-2656
- サンローラン クライアントサービス tel: 0120-95-2746
- シスレージャパン web: www.sisley-paris.com
- ジーンシティ ジャパン tel: 0120-218-025
- ジミー チュウ tel: 0120-013-700
- シャネル カスタマーケア tel: 0120-525-519
- エルメスジャパン tel: 03-3569-3300
- シャネル ジャパン プラス tel: 03-5524-8922
- ショメ tel: 03-5635-7057
- ジョンストンズ オブ エルガン tel: 03-6427-9452
- ジョンマスターオーガニック tel: 0120-207-217
- SNOW FOX SKINCARE tel: 050-8881-9811
- セリーヌ ジャパン tel: 03-5414-1401

- ダイソお客様相談室 tel: 0120-295-731
- TASAKI tel: 0120-111-446
- タミアーニ 銀座タワー tel: 03-5537-3336
- デルヴォー tel: 03-6432-9125
- ドルチェ ヴァン ヴッテン tel: 03-6820-8104
- ドルチェ・ヴィータ・エッセンティア(コンダンス パロ) tel: 0120-029-035
- 日本ロレックス / チューダー tel: 0120-929-570
- BAUM お客様窓口 tel: 0120-332-133
- パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター tel: 03-3255-8109
- バーバリージャパン tel: 0066-33-812819
- ハリウッド・クラブ クライアントインフォメーション tel: 0120-346-376
- バレンシアガ クライアントサービス tel: 0120-992-136
- フェラガモジャパン tel: 0120-202-170
- フェンディ ジャパン tel: 03-6748-6233

- ブシュロン クライアントサービス tel: 0120-230-441
- ブラダ クライアントサービス tel: 0120-45-1913
- ブルガリ ジャパン tel: 0120-030-142
- フレッド カスタマーサービス tel: 03-6679-2011
- HOSOO FLAGSHIP STORE tel: 075-221-8888
- ボッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-60-1966
- ボッテガ・ヴェネタ ジャパン tel: 0120-030-535
- ミキモト カスタマーサービスセンター tel: 0120-868254
- メリオロ tel: 03-5817-7550
- モルトンブラウン mail: moltonbrown@japan@kao.co.jp
- ヨウヤマモト プレスルーム tel: 03-5463-1500
- ラドー スウォッチ グループ ジャパン tel: 03-6254-7330
- リグルジャパン(ヴァーダント アルケミー) tel: 048-229-7820
- リシヤールミルジャパン tel: 03-5511-1555
- ルイ・ヴィトン クライアントサービス tel: 0120-00-1854
- ロエベ ジャパン クライアントサービス tel: 03-6215-6116
- ロンドン tel: 03-6254-7350

雄大な自然の中、のびのびプレー！ 環境の大切さを再確認する機会に

text: Hana Honcia



Play Golf

名コースを舞台に和気あいあいとプレー！コンペの舞台は、都内にありながら圧倒的な開放感を誇る「よみうりゴルフ倶楽部」。通常は会員制とあって、初めて訪れる参加者がほとんどだった。「広々としたコースで、プレーできるのがうれしい」と、開始前から気分が上がった。コンペは、18ホールのストロークプレーで競う。真剣な表情で繰り出すショットは、どれも力強いものばかり。キャディー付きでのラウンドも、多くの参加者にとって特別な体験となったようだ。プレーの合間には、フラッグやパネルの前で記念撮影を楽しむ姿がたびたび見られ、終始和気あいあいとした雰囲気だった。

「marie claire sustainable open golf 2023」大盛況にて終了

澄んだ青空が広がる、絶好のゴルフ日和に開催された「marie claire sustainable open golf 2023」。総勢約160名の参加者が一堂に会し、心地よい汗を流した。

参加者は女性限定。ベストドレッサー賞も選ばれ、参加者のこだわりが詰まったゴルフファッションが目を引いた。ウェアと小物で色味を統一したり、グループでアイテムをおそろいにしたり……。普

段とは異なるファッションに挑戦した参加者も多かった。「女性限定のコンペだから、気合を入れてゴルフウェアを選びました」という声も聞かれた。いよいよスタートしたラウンドでは、笑顔を支えながらのプレーが続く。ゴルフ好きという共通点を持つ参加者は、初対面でもすぐに意気投合。「ナイスショット」「惜しい！」など、あちこちで明るい声が響く。ゲストハウスでは、ゴルフウェアのコー

ディネート展示やパーソナルカラー診断など、協賛各社が趣向を凝らしたブースを開設。モデル・浦浜アリスさんと「marie claire」の田居克人編集長のミニトークも行われた。田居編集長は、ゴルフについて「門人でも楽しんで、長く続けられるのが魅力」と力を込めた。参加者は休憩中やラウンド終了後も、バラエティに富んだイベントの数々を思い思いに楽しんだ。この日、度々目にしたのは参加者の手に

あるマイボトルだ。普段から持ち歩くという人が多く、日常生活に自然とSDGsが浸透している様子。エコバッグを常に携帯している、フードロスを減らすよう心掛けている、といった取り組みも聞かれ、サステナブルへの意識は非常に高いようだ。今回のコンペを通じ、雄大な自然の中でプレーすることで、環境保護の取り組みを続けることの大切さを再確認する機会となったようだ。



Touch & Try, Party

数々のイベントで、ラウンド以外の時間も充実。当日は、協賛各社のブースをはじめ、さまざまなイベントが会場を盛り上げた。1.「marie claire」のフォトスポット 2.ミニトークショーで「ゴルフは、何歳からでも始められるのがうれしい」と浦浜さん。3.ベストドレッサー賞を受賞した青木いづみさん。4.協賛の「FALCONERI」のブースでは上質なカシミアに触れる体験も。5.大丸東京店厳選のゴルフウェアがずらり。人気投票も行われた。6.表彰パーティーでは、豪華賞品を用意。受賞者が発表された時歓声が上がった。7.SDGsについて、クイズ形式で学べる展示。8.大丸東京店のクーポンなど、豪華景品が入った参加者特典

12星座占い師marie claireの動きと独自の視点で感じたムードを言語化しながら、星座のストーリーを発信！絶妙なバランスで語られるメッセージは幅広い世代から支持を得ている。